

みさとのお

学校目標【ふれあい チャレンジ きらりかがやく 三里の子の育成】
～ すべては子どもたちの笑顔のために ～

“あいさつ” はなぜするの？

以下、こどもたちに話した内容の概要です。

「あいさつはなぜするの？」「あいさつをするとどんな良いことがあるの？」と問いかけてみました。すると、「お互いが気持ち良く過ごすために」という答えが返ってきました。まさにその通りです。あいさつは、お互いの存在を認め合う一番の効果がある行為だと言われます。相手を認め、尊重することは、人間関係の基本でとても重要なことです。逆に考えると、あいさつをしても返ってこない時は、存在を否定された気がして不安で悲しくなります。本人はその気がなくても、無視・仲間外れされたように感じることもあります。そして、いじめられているという認識に変わってしまう恐れがあります。

付け加えて、もう一つの効果について話しました。それは、「防犯」に役立つことです。

地域や知らない人にもあいさつをしようと指導をします。その目的は2つあります。

- ① 知らない人が悪意のある人なら、突然あいさつをするとびっくりして尻込みをし、その場を離れることが多いとのことです。危険から逃れる効果があります。
- ② 地域の方にあいさつすることは、自分を守ることにつながります。お互いの顔を覚え、だんだん親しくなり、いざというときに頼れる存在になります。登校中に溝に落ちてずぶ濡れになったり、転んでけがをしたり、不審な人が追いかけてきたりしたときに、助けを求めやすくなります。

引き続き、子どもたちにあいさつの指導を続けていきます。地域の皆様にも温かいまなざしとあいさつをお願いします。時間がとれたら、「ながら見守り」もお願いいたします。



移転地

遊水地に伴う移転地の工期が令和7年3月末までの予定でしたが、6月末まで延びていました。宅地が整地され、側溝が設置され、電柱が建ち、舗装も終わり、ようやく移転地が完成し、移転できるようになってきたようです。しかし、すでに該当地区の半数以上が校区外に移転を済ませられている状態です。ですので、入居されてもかなりの区画が余る状態です。

そこで、三里地区の良さをアピールし、少しでも転入者がふえたらと思い、学校ホームページに「三里ふれあい自然塾」の活動を紹介しています。この地域では、子どもたちを大切に思い、様々な体験活動ができるようにがんばっていますという思いが届けばと思っています。今年度は、今までにタマネギの収穫、芋苗差し、いちご摘みなどが行われました。

